

小高病院本館の解体について

1. 小高病院本館の状況について

小高病院本館は、建築後 39 年が経過している中、東日本大震災により以下の被害を受けており、半壊のり災証明を受けている。

内壁に構造クラックが発生

壁中の設備配管類の損傷

管理不能となったための施設全体の荒廃

2. これまでの経過について

- ・平成 27 年 12 月 本市から環境省に対して「被災家屋(荒廃家屋)等の解体、撤去及び処分に関する申請書」を提出
- ・平成 29 年 3 月 市が「南相馬市立病院改革プラン」を策定
- ・平成 29 年 12 月 市議会定例会において、「南相馬市病院事業の設置等に関する条例」改正案が否決
- ・平成 31 年 3 月 市立病院病床再編計画策定(予定)

3. 環境省による病院解体の進め方について

これまでの環境省との協議の結果、以下のスケジュールにより病院等の解体を行う予定。

- ・平成 31 年 4 月 公物解体事業開始、順次医師住宅・物置等の付属建物の解体に着手
- ・平成 31 年 11 月頃 病院本館の解体着手(病床再編計画に基づく県等の協議終了後)
- ・平成 32 年 2 月頃 解体業務完了

小高病院の診療機能については、病院本館解体着手前に小高保健福祉センター等に一時移転し診療を継続する予定